

東京都立羽村高等学校

令和3年度 年間授業計画

教 科：家庭科

科 目：家庭総合

単位数： 1 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：(2,4,5,6組：成田晴美) (1,3,7,8組：杉山亜希子)

使用教科書：新家庭総合 主体的に人生をつくる (大修館書店)

使用教材：2020生活学Navi (実教出版)

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	2年家庭総合のガイダンス 食生活の成り立ち①②	・家庭総合を学ぶにあたり、授業の流れや約束を理解させる。 ・なぜ、私たちは食事をするのか。食事の大切さ、食事と生活リズム、朝食の大切さなどを理解する。	ワークシート 授業の取り組み	3
5月	食事の成り立ち③ 食事の成り立ち④ 食事の成り立ち⑤	・食生活の変遷や現代の食生活の多くの課題があることを知らせ、その原因を理解する。 ・食生活の課題を理解した上で、今後の自分の食生活をどのように取り組めばよいか、考え、発表する。 ・まとめとして、NHK高校講座を視聴し、映像からの具体的な内容に触れ自分の考えや他者との考えを見直す。	ワークシート 授業の取り組み 発表	3
6月	栄養と食品① 食品の栄養素とからだの成分 栄養と食品② 炭水化物とその食品 栄養と食品③ 脂質とその食品	・人の体の成分が水分やたんぱく質・脂質でできていることを理解する。 ・五大栄養素とその働きを理解する。 ・世界で様々な食文化において、炭水化物を多く含む食品が様々な方法で調理され食されていることを理解する。 ・炭水化物を多く含む食品の中から、「米」「小麦」「いも」「砂糖」についてそれぞれの特徴とはたらき、成分を整理し理解することができる。 ・脂質の種類と特徴を理解することができる。(飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸等) ・脂質を多く含む食品と調理性を理解する。	ワークシート 授業の取り組み	4
7月	栄養と食品④ たんぱく質とその食品 栄養と食品⑤ 無機質・ビタミンとその食品	・たんぱく質の種類と特徴を理解する。必須アミノ酸やアミノ酸化について理解する。たんぱく質の調理性を理解する。 ・無機質の種類と特徴を理解する。 ・無機質を多く含む食品、特に「乳製品」「海藻」について特徴やはたらきを理解する。 ・ビタミンの種類と特徴を理解する。 ・ビタミンを多く含む食品について特徴やはたらきを理解する。	ワークシート 授業の取り組み	2
9月	安全で環境に配慮した食生活① 安全で環境に配慮した食生活② 安全で環境に配慮した食生活③	・食品の選び方、食品表示の読み取れる情報を理解し、今後の生活に生かす。 ・食中毒の種類と原因を理解し、食中毒にかからないための調理の仕方について考える。 ・食品添加物の種類と効果について理解する。 ・世界と日本の食料事情、安全安心な食生活について理解する。 ・普段私たちが生活する中で取り組めることを考える。	ワークシート 授業の取り組み	3
10月	安全で環境に配慮した食生活③ 健康につながる食事計画 調理実習① 健康につながる食事計画 調理実習② 住生活の成り立ち 人と住まいのかかわり	・身近な食品表示を調べ考察し、発表する ・1時間でできる調理実習 都のガイドラインでできない場合、変更有 ・1時間でできる調理実習 都のガイドラインでできない場合、変更有 ・住まいは生活の基盤であることを理解する。 ・気候風土、ライフスタイルにあわせた住まい方を考える。	ワークシート 授業の取り組み 発表	4
11月	家族の生活と住空間 あなたや家族の生活に合った住空間計画 健康で安全な住生活 健康的な住環境 健康で安全な住生活② 健康的な住環境 健康で安全な住生活③	・日本の住まいの文化について理解する。 ・住まいづくりがどのように変化してきたかを理解する。 ・ライフステージにふさわしい住まいを理解する。 ・健康のために住まいに求められる要素について理解する。 ・自分の生活を見直し改善に向けて何ができるか考えられる。 ・家庭内事故の実態を理解し、安全な住まいのあり方を考える。 ・災害から身を守るには、日頃の備えとコミュニティにあることを理解する。	ワークシート 授業の取り組み	4
12月	よりよい住環境の実現をめざして 保育 ・子どものことを知ろう	・自分の生活を見直し改善に向けて何ができるか考えられる ・まとめをする。 ・乳児期、幼児期に読む本を読んで、絵本の役割を理解する。	ワークシート 授業の取り組み	2
1月	保育 子どもの心身の発達①② 保育 子どもの生活①	・子どもの発達、発育の速度、学習能力について知る。子どもが健やかに成長するために必要な知識を得る ・乳幼児期における子どもの発達について知り、その後の成長や人格の形成に関わる影響について考える。	ワークシート 授業の取り組み	3
2月	保育 子どもの生活② 保育 子どもの遊び 高齢者 高齢社会に生きる私達の暮らし①②	・子どもの1日の生活の様子を発達段階ごとに大まかに理解させる。乳幼児期の生活習慣について理解させる。 ・子どもの生活における「遊び」の重要性を理解させる。 ・高齢者の暮らしを理解し、人権を尊重する姿勢と共生する力を養う。 ・日本の高齢社会の現状を理解する。 ・自分たちが行動できることを考える。	ワークシート 授業の取り組み	4
3月	消費生活 持続可能な社会環境 家庭総合まとめ 生活設計	・私達の日常生活は、大量の廃棄物を生み出していることを知る。廃棄物の産出を抑制する生活のあり方を考える。 ・今まで学んできたことを生かして自分の将来について考える。 ・自分の生活設計をたて、疑問点・問題点をまとめ、発表する。	ワークシート 授業の取り組み 発表	3